

5.3.3 河川整備の重点的、効果的、効率的な実施

本整備計画を重点的に進めるため、効果的かつ効率的な取り組みが必要となります。

新技術等を活用したコスト縮減・事業の迅速化を図り効率的な事業実施をおこなうとともに、本整備計画策定後の各種施策等の実施にあたり、計画の進捗状況や社会情勢、地域の要請等に変化が生じた場合は、計画のフォローアップを行い必要に応じて見直しを行い効果的な河川整備を実施します。

6. 結 語

本整備計画では、3つの基本理念「安全で安心が持続できる阿武隈川の実現」「豊かで多様な自然環境の次世代への継承」「阿武隈川を軸とした人・自然・社会の調和と活力ある地域の創造」の実現に向けて、阿武隈川の治水、利水、環境、維持・管理それぞれに目標を定め、段階的な整備に着実に取り組んでいくこととしています。

本計画を実行し、阿武隈川をより良い姿で次世代に継承していくためには、河川管理者の不断の努力はもとより、流域に住む一人一人の理解と協力が必要不可欠です。そのためには、流域に住む多くの人々が阿武隈川に親しみ、関心を持ってもらうことが大切と考えています。

河川整備計画の実施にあたっては、計画の実施段階から維持管理に至る様々な場面で河川管理者の取り組みを地域に情報発信し、また、地域の方々の阿武隈川への思いやニーズを適切に把握し、施策に反映していくことで、河川管理者と流域市民の信頼関係を育み、連携と協働の枠組みを広げていく必要があります。

このような取り組みを継続することにより、阿武隈川が1つの流域共同体であるとの意識が醸成され、阿武隈川が抱える様々な課題は、流域に住む一人一人共通の課題であると認識されるものと考えます。

阿武隈川は、流域の人々との関わりの中で、時には自然の力で、時には人の手によって、常にその姿を変えながら、歴史と文化を育んできました。この、たえず変化している阿武隈川を確かな目で見つめ、川と上手につきあってきた先人たちの知恵に学びながら、地域とともにより良い川づくりに努めていきます。